

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国際線の対応について(Rev.15)

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う環境変化への対応として、10月1日(木)～10月31日(土)における国際線の路線便数計画を決定しました。

各国の出入国制限や検疫体制、需要動向などを見極めながら、今後も運航計画の見直しを検討してまいります。また、空港・機内においてお客さまと共に常に衛生的で清潔な環境を作り、安心いただける空の旅を提供いたします。

【10月からの主なトピックス】

- ◆ 羽田=台北(松山)線の旅客便運航を再開します。
- ◆ 羽田=シドニー線の旅客便運航を往復再開します。(9月までは往路のみの運航)
- ◆ 北米=東南アジア間、欧州=オセアニア間を移動されるお客さまの利便性向上に向けて増便します。

■ 2020年10月1日(木)～10月31日(土)の減便概要

方面	計画路線数	減便対象 路線数	計画便数 (片道)	減便便数 (片道)	減便率 (減便便数/計画便数)	※参考 9月減便率
北米	12	12	806	547	68%	72%
欧州	6	6	434	305	70%	75%
東南アジア	14	14	1,116	909	81%	83%
オセアニア	2	2	124	108	87%	93%
東アジア(以下内訳)	20	20	1,860	1,772	95%	96%
北京・大連・天津・上海・広州	11	11	992	974	98%	98%
香港	2	2	124	108	87%	85%
台北、高雄	5	5	434	380	88%	90%
ソウル、釜山	2	2	310	310	100%	100%
ハワイ・グアム	6	6	558	554	99%	99%
合計	60	60	4,898	4,195	86%	87%

<減便対象路線数・減便数について>

- 【今回発表分(10月1日～31日)】 60路線、4,195便
【夏期ダイヤ期間(3月29日～10月24日)】 60路線、29,962便(*1)
【冬期ダイヤ(*2)期間(10月25日～10月31日)】 60路線、946便

(*1)今回変更分に加え、9月中の追加減便、臨時便の設定などを含みます。

(*2)路線便数計画は夏期ダイヤから変更ありません。

<方面、都市について>

- 北米 シカゴ、ダラス・フォートワース、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シアトル、サンディエゴ、バンクーバー
- 欧州 ロンドン、パリ、フランクフルト、ヘルシンキ、モスクワ、ウラジオストク
- 東南アジア シンガポール、クアラルンプール、デリー、ベンガルール、ジャカルタ、マニラ、バンコク、ハノイ、ホーチミンシティ
- オセアニア シドニー、メルボルン
- 東アジア 北京、大連、天津、上海(浦東・虹橋)、広州、香港、ソウル(金浦)、釜山、台北(桃園・松山)、高雄
- ハワイ・グアム ホノルル(オアフ島)、コナ(ハワイ島)、グアム

以上

※今後の最新情報については JAL Web サイト

(<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/200511/index.html#inter>)をご参照ください。